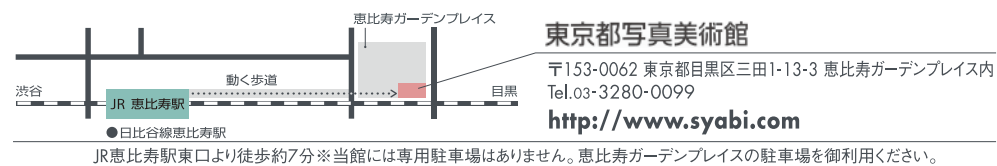


# SCHEDULE

東京都写真美術館展覧会スケジュール

2008	3階展示室	2階展示室	地下1階展示室	1階ホール
12	ヴィジョンズ・オブ・アメリカ 第3部 アメリカン・メガミックス 1957-1987 10月25日(土)～12月7日(日)	日本の新進作家展 vol.7 オン・ユア・ボディ 10月18日(土)～12月7日(日)	第9回上野彦馬賞 九州産業大学フォトコンテスト 12月6日(土)～14日(日)	 オペラ映画フェスティバル イタリアオペラ～名作の森～ 12月13日(土)～28日(日)
2009	 彫る中山岩太:モダニズムの光と影 12月13日(土)～2月8日(日)	 ランドスケープ 柴田敏雄展 12月13日(土)～2月8日(日)	 映像をめぐる冒険vol.1 イメージーション 視覚と知覚を 超える旅 12月20日(土)～2月15日(日)	 ニューイヤー! オペレッタ シネマ・フェスティバル 1月2日(金)～12日(月・祝)
1	展示室メンテナンス 2月9日(月)～19日(木)			
2	恵比寿映像祭 2月20日(金)～3月1日(日)			
3	 夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 II. 中部・近畿・中国地方編 3月7日(土)～5月10日(日)	 やなぎみわ展 (仮称) 3月7日(土)～5月10日(日)	APAアワード2009 3月7日(土)～3月22日(日)	 ©2008 オニマクリスプラナ製作委員会 ゼラチンシルバーLOVE 2009年早春
4		 野町和嘉写真展 【聖地巡礼】 3月28日(土)～5月17日(日)		
5		JPS展 5月23日(土)～6月7日(日)	 カメラマン 東洋宮武が覗いた時代 2009年ゴールデンウィーク	
6	コレクション展「旅」 第1部 写真黎明期 (仮称) 5月16日(土)～7月12日(日)	昭和の新聞カメラマン物語展 大東元・影山光洋・ 吉岡専造・富山治夫 (仮称) 5月16日(土)～7月5日(日)	世界報道写真展2009 6月13日(土)～8月9日(日)	※スケジュール・展覧会タイトル等は予告なく変更される場合があります。最新の情報はホームページをご覧ください。

- ご利用案内** ●休館日：毎週月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合、その翌日)、年末年始(2008年12月29日～2009年1月1日)  
●開館時間：10:00～18:00(木・金は20:00まで) 入館は閉館の30分前まで
- 年始特別開館** ●2009年1月2日(金)～4日(日)  
1月2日より開館 ●開館時間：10:30～18:00(入館は閉館の30分前まで) ※ただし1Fホールは 10:00開場
- 割引チケットの販売** お得な割引料金で2会場以上を自由に組み合わせてご覧いただける割引チケットを販売しております。詳しくはチケット売り場でおたずねください。



※本誌編集ページに掲載されている観覧料および商品の価格は、原則として消費税込みの価格です。  
東京都写真美術館ニュース「アイズ08」60号 ●発行日:2008年12月4日 / 企画・編集:東京都写真美術館事業企画課 普及係 ●印刷・製本:JTB印刷株式会社  
●発行:財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 ©2008-2009 ●本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製を禁じます。

# eyes



次の私の肉体は、必ず私の手で作る。  
そう決めていたけれど。  
さていざ、なすべきかなざるべきか。  
たった今この手を、止めるべきか止めざるべきか。

2008 Vol.60

TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY NEWS MAGAZINE



《MIWA》2001年© YANAGI Miwa 1000×1200mm

Topics

## やなぎみわ展 (仮称)

やなぎみわの写し出す50年後のグランドマザー。それは、時間の流れを超え、やがて誰にも訪れる老いから解放される瞬間でもあるのかもしれない。3月より開催の展覧会についてやなぎさんにお話をうかがいました。

今回、ご紹介する「マイ・グランドマザーズ」は、私が2000年から撮り続けているシリーズで、その名の通り“私のおばあちゃんたち”をテーマにした作品です。普通、血縁のおばあさんというのは、そう何人もいないと思うんですけど、それが10人も50人も100人も存在すればいいなという願いから始まりました。

撮影はまず、公募したモデルへのインタビューからスタートします。50年後、どんなグランマになりたいかを具体的に話し合い、カメラの前で自演してもらいます。衣装や

小物もひとつひとつじっくり話し合って決めます。このシリーズの前に制作していた「エレベーターガール」では、若い女性の群像をモチーフにしていました。撮影自体もここに立ってほしいとか、笑ってほしいとかは私がコーディネートして、彼女たちにはドールのようにしてもらいましたが、「マイ・グランドマザーズ」は、モデルの意思が投影されている。すごく対照的なシリーズなんです。

赤い髪の《YUKA》は初期の作品です。髪の毛の色や歯に輝く

表紙：《SHIZUKA》2004年© YANAGI Miwa 1400×1000mm

ダイヤモンド、青いハーレーダビットソンもすべて彼女のアイデア。バイクを運転している隣りの男の子も彼女のリクエストどおりに捜してきました。余談ですが、なんとこのおふたり、撮影後に結婚して、いまはお子さんもいらっしゃいます。これまでに下は小学六年生、上は40代のモデルさんに登場してもらいましたが、世代によって描くグランマはズいぶんと異なります。

例えば、20代の想像するグランマには先ほどの《YUKA》のように50歳年下のボーイフレンドとアメリカを横断する旅をするなどポジティブで元気。でも30代以降になるとネガティブな面も受け入れてくる傾向があるようです。体がだんだん動かなくなり、今日できたことが明日、できなくなる。生きていけばいくほど現実的な想像力が増してくるので、動きまわるおばあさんというよりは、老いを受け入れたアイデアが多いですね。新作も数点ほどありますが、40代の方の作品ではご夫婦だけで老後を向かえ、夫に先立たれてしまった妻が大晦日の夜、毎年ふたりでそうしたように、雪の降る神社で年を越す・・・というような年相応のリアルがあるんです。

ちなみに、数あるグランドマザーのなかに私の50年後も《MIWA》として入っています。セルフポートレートという意識はまったくなくて、自分でモデルをするつもりもなかったんですけど、人におばあさんの格好をさせて自分がやらないというもどうかと思ひまして(笑)。

けれど、実際に自分でやってみて、50年後の自分の願望をたった1枚だけに絞らなくてはならない作業自体が、非常に興味深く感じましたね。モデルの皆さんも、あっさり決まる方と、1年近くやり取りをする方、さまざまです。多分、こうはならないけれど、なれたらいいなという語り口でやってくれた方もいれば、今は望んでいないけれど、過去、



《YUKA》2000年© YANAGI Miwa 1600×1600mm

こういうことを望んでいた自分に決別するという意味で撮られる方もいましたね。

そもそも私が“グランドマザー”をテーマにした理由は、やはり女性の老いというものに対して愛着を持っているからなんだと思います。グランドファーザーがないのが申し訳ないんですけど(笑)。女性に視点をのいた作品が多いのも、同性に対する愛情というか、自分にオーバーラップさせるからなのでしょう。

「マイ・グランドマザーズ」は鑑賞者に反映される作品、つまり「自分はどうか」と考えることができる作品だと思います。ですから展示構成も星を散りばめたように並べたいと考えています。ズラッと見て、気に入ったグランマのところ立ち止まってほしい。そして自分と重なる部分

や共感する部分があるのはなぜか?を感じ取ってもらえれば嬉しいですね。実際に50年後、モデルが創作したようになるかどうかはわからないけれども、今の時点でそうなるように願い、同時に鑑賞者の方々の未来に喜びがあればいいなと願っています。

[インタビュー 2008年11月]



《GEISHA (AKIYO/MAI/HITOMI/NORIKO)》2000年© YANAGI Miwa 1800×2400mm

2F

2階展示室  
Exhibition Gallery

友の会割引 | 三越カード割引 | アトレカード割引

3月7日(土) ▶ 5月10日(日)

入場無料

一部イベント・上映等を除く

## やなぎみわ展 (仮称)

□ 一般 800(640)円 □ 学生 700(560)円 □ 中高生・65歳以上 600(480)円

( )は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員、上記カード会員割引料金  
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料○主催：財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館/朝日新聞社  
○協賛：株式会社資生堂 ほか

やなぎみわは、京都市立大学大学院美術研究科修了後、1993年に京都で初個展を開催し、以後、'96年より海外の展覧会にも参加。'04年には、グッゲンハイム美術館(ドイツ)での個展を皮切りに、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館にて「少女地獄極楽老女」展、'05年には原美術館にて「無垢な老女と無慈悲な少女の信じられない物語」を開催。寓話で語り継がれてきた女性像や、現代社会における個々人の問題意識に焦点を当てる作品を制作し続けています。

本展では2000年に初発表し、国内外で高い評価を得た

「My Grandmothers」シリーズより、新作を含んだ約30点を一挙公開。若い女性が思い描く50年後の自分の姿を作り上げ撮影した作品の数々には、作家と被写体が対話を繰り返し、想像した将来の姿についてのテキストを付しています。

ニューヨーク、ヒューストンの個展などを経て、2009年にはベネチア・ビエンナーレ美術展への出品が決まったやなぎみわの最新作を、ぜひお楽しみください。

※担当学芸員によるフロアレクチャー 第2・4金曜日 14:00～  
※本展覧会の半券(当日消印)をお持ちの上、会場入り口にお集まりください



《A1》2003年© YANAGI Miwa 1800×2400mm

eyes | 03 |



## 恵比寿映像祭

Yebisu International Festival for Art &amp; Alternative Visions

恵比寿の地で新たなる映像の祭典が始まります。

映像? アート? 情報?

「映像」をキーワードにジャンルや時代を横断して  
多彩なコンテンツが一堂に会します。

<http://www.yebizo.com>

## 第一回 恵比寿映像祭 オルタナティヴ・ヴィジョンズ “映像体験の新次元”

主催：東京都/財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館/日本経済新聞社 後援：フジテレビジョン/カナダ大使館

2.20 fri — 3.1 sun / 2009 東京都写真美術館  
全フロア/入場無料

## 東京文化発信プロジェクトとは……

東京文化発信プロジェクトとは、東京ならではの芸術文化の創造・発信、芸術文化を通じた子どもたちの育成を目的として、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体等と協力して実施するもので、演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野で文化イベントを展開していきます。東京が2016年のオリンピック・パラリンピック開催の立候補都市に承認された今、あらためて「文化芸術創造都市」であることを、創造活動とその成果の発信を通じて、国内だけでなく世界に強くアピールしていきます。ぜひ東京文化発信プロジェクトに参加し、東京文化を体験・創造してみませんか。



東京文化発信  
プロジェクト

東京都写真美術館



TOKYO 2016  
日本だからできる  
あなただけのオリンピック  
東京都

東京都写真美術館

2F

2階展示室  
Exhibition Gallery

友の会割引 | 三越カード割引 | アトレカード割引

12月13日(土) ▶ 2月8日(日)  
12月29日(月)～1月1日(木)は年末年始休館

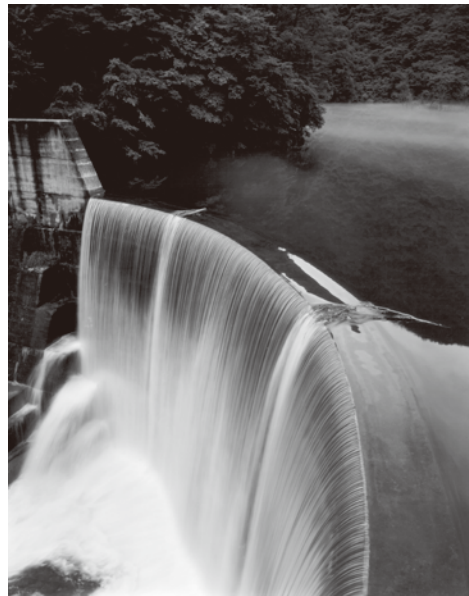
## ランドスケープ 柴田敏雄展

□ 一般 700(560)円 □ 学生 600(480)円 □ 中高生・65歳以上 500(400)円

( )は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員、上記カード会員割引料金  
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料○主催：財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館／読売新聞東京本社／美術館連絡協議会  
○助成：芸術文化振興基金 ○協賛：ニコン／ニコンイメージングジャパン／ライオン／清水建設／大日本印刷  
○協力：双ギャラリー／ツァイト・フォト・サロン／フォトグラファーズ・ラボラトリー／イマジン・アートプランニング

柴田敏雄(1949年～)は、東京藝術大学で油絵や版画を学び、ベルギー留学中に本格的な写真制作を始めました。帰国後の1980年代後半に、ダムやコンクリートに覆われた造成地など、人工的に変容された風景を捉えたモノクロ写真で注目され、近年ではカラー作品も発表しています。自然の中に人間が作り上げた景色は、柴田独特のフィルターを通して“現代の風景美”として表現され、現代的な美しさを雄弁に語りかけます。

柴田の作品は国内だけではなく、海外の多くの美術館に

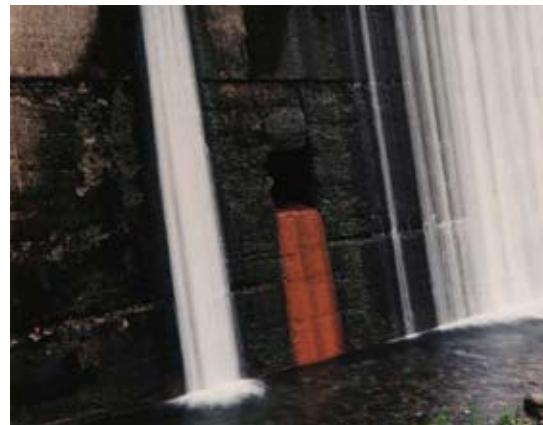


福島県 相馬郡鹿島町 1990年

も作品が収蔵されていますが、日本の美術館での個展は今回がはじめて。豊富なモダンアートの経験から表現される圧倒的な美しさはもちろん、美術館の広い空間に、1000×1250mmの大型プリントをはじめ約70点がどのように展示されるのかも見どころとなります。

※ 新春アーティストトーク 解説：柴田敏雄  
2009年1月2日(金)、3日(土) 14:00～  
※ 担当学芸員によるフロアレクチャー  
第1・3・5金曜日 14:00～  
※本展覧会の半券(当日消印)をお持ちの上、会場入り口にお集まりください

※ 講演会(会場：1階創作室)  
第1回：2008年12月23日(火・祝) 14:00～16:00  
【出演】飯沢耕太郎(写真評論家)×柴田敏雄  
第2回：2009年2月1日(日) 14:00～16:00  
【出演】光田由里(渋谷区立松濤美術館学芸員)×柴田敏雄  
※当日10:00より本展覧会半券をお持ちの方に1階受付にて整理券を配布します



栃木県 日光市 2007年

3F

3階展示室  
Exhibition Gallery

友の会無料 | 三越カード割引 | アトレカード割引

12月13日(土) ▶ 2月8日(日)  
12月29日(月)～1月1日(木)は年末年始休館

## 甦る中山岩太：モダニズムの光と影

□ 一般 700(560)円 □ 学生 600(480)円 □ 中高生・65歳以上 500(400)円

( )は20名以上の団体および、上記カード会員割引料金  
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※東京都写真美術館友の会会員は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料○主催：東京都 東京都写真美術館／読売新聞東京本社／美術館連絡協議会  
○協賛：ライオン／清水建設／大日本印刷 ○特別協力：中山岩太の会／兵庫県立美術館／芦屋市立美術館／ラボテイク  
○協力：フォト・ギャラリー・インターナショナル

中山岩太(1895～1949)は、1918年に東京美術学校(現・東京藝術大学)臨時写真科を卒業し、農商務省の海外実業練習生として渡米しました。'21年、ニューヨークに写真スタジオを開業後パリに渡り、「フェミナ」誌で嘱託写真家として活躍する一方、藤田嗣治やマン・レイなどとも交流を深めます。'27年に帰国。'30年には「芦屋カメラクラブ」をハナヤ勤兵衛らと結成し、'32年には野島康三らとともに写真雑誌『光画』を創刊。モダニズムの感性にあふれた「新興写真」の旗手として日本の近代的写真表現をリードする存在となります。

本展では、作家の手によるオリジナル・プリントに加え「残されたガラス乾板」をもとに、銀塩印画紙によるプリントを展示。ニューヨーク時代から晩年に至るまでの主要な作品を中心に、全紙大のプリント約40点の公開や中山の制作過程を明らかにするガラス乾板、また、『光画』をはじめ、当時の写真雑誌、関係資料をあわせて約120点の作品と資料をご紹介します。銀塩写真の危機が叫ばれている今日、歴史的遺産ともいべき写真原板をいかに後世に伝えていくかという問いかけに対する一つの答えを示す場となるのではないのでしょうか。



長い髪の女 1933年

※ 新春ギャラリートーク 解説：金子隆一(当館専門調査員)  
2009年1月2日(金)、3日(土) 16:00～  
※ 担当学芸員によるフロアレクチャー  
第2・4金曜日 16:00～  
※本展覧会の半券(当日消印)をお持ちの上、会場入り口にお集まりください

※ 講演会(会場：1階創作室)  
2009年1月25日(日) 18:30～20:30  
「中山岩太のニュープリントを制作して」  
比田井一良(ラボテイク)×金子隆一(当館専門調査員)  
※当日10:00より本展覧会半券をお持ちの方に1階受付にて整理券を配布します

**B1F** 地下1階展示室  
Exhibition Gallery

友の会無料 | 三越カード割引 | アトレカード割引

12月20日(土) ▶ 2月15日(日)  
12月29日(月) ~ 1月1日(木) は年末年始休館

Quest for Vision IMAGINATION イマジネーション／視覚と知覚を超える旅  
映像をめぐる冒険

□ 一般 500(400)円 □ 学生 400(320)円 □ 中高生・65歳以上 250(200)円

( )は20名以上の団体および、上記カード会員割引料金  
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※東京都写真美術館友の会会員は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

○主催：東京都 東京都写真美術館／産経新聞社  
○支援：文化庁若手クリエイター創作支援事業 ○助成：財団法人 花王芸術・科学財団  
○協力：NECディスプレイソリューションズ株式会社／株式会社キクチ科学研究所 ○協賛：凸版印刷株式会社  
○技術支援：有限会社カクシマ・ラボ ○後援：サンケイスポーツ/タ刊フジ/フジサンケイビジネスアイ/iza!/SANKEI EXPRESS

本年度からスタートするシリーズ企画「映像をめぐる冒険」では、当館映像コレクションの指針となる5つのテーマを毎年ひとつずつ再考していきます。第1回目の本展では、人が抱くイマジネーションを視覚的に表現する技法について、3部構成で展示します。映像前史をたどる数々の名品に加え、狩野志歩、牧野貴による新作インスタレーションのほか、宇川直宏、近森基++久納鏡子、渡辺水季ら、現代の作家たちの作品を織り交ぜて構成いたします。



〈フェナキスチスコープ(驚き盤)〉1832年以降 東京都写真美術館蔵

※アーティストトーク  
牧野貴 12月26日(金)15:00~ / 狩野志歩 1月9日(金)15:00~  
宇川直宏 1月16日(金)15:00~ / 渡辺水季 1月30日(金)15:00~  
※担当学芸員によるフロアレクチャー  
1月23日(金)、2月6日(金) 各15:00~  
※驚き盤ワークショップ ※詳細はホームページをご覧ください。  
1月12日(月・祝)、1月18日(日) 各13:00~17:00

**B1F** 地下1階展示室  
Exhibition Gallery

12月6日(土) ▶ 12月14日(日)

**第9回上野彦馬賞**  
九州産業大学フォトコンテスト

□ 入場無料

○主催：九州産業大学／毎日新聞社

幕末から明治にかけて写真術を学び、わが国の〈写真の祖〉と言われる上野彦馬(1838~1904)の名を冠したこのコンテストは、明日の写真界へのデビューを夢見る若い写真家の発掘と育成を目的としたものです。全国から応募された3,428点の作品から入賞した102点をご紹介します。

※お問い合わせ先 毎日新聞福岡本部事業部 092-781-3636

**B1F** 地下1階展示室  
Exhibition Gallery

3月7日(土) ▶ 3月22日(日)

第37回社団法人日本広告写真家協会公募展  
**APAアワード2009**

□ 大人 500円 □ 学生(高校生以上)・65歳以上 300円

○主催：社団法人 日本広告写真家協会

社団法人日本広告写真家協会が公募した「APAアワード2009」の入選作品を一堂に展示致します。昨年1年間に広告として世の中に流通した広告作品部門と、「活(かつ)」というテーマに沿って写真家の新たな表現への挑戦を公募した写真作品部門で、人の心を動かす作品をご堪能ください。

※お問い合わせ先 社団法人日本広告写真家協会 03-3543-3387

新春トークで出品作家や学芸員に会おう!

3階展示室 ギャラリートリートーク  
「魅せる中山岩太 モダンイズムの光と影」  
1月2日(金)、3日(土)16時



中山岩太 福助足袋 1930年



柴田敏雄 埼玉県 秩父市 2006年

柴田氏 来館!

学芸員の解説

展示会の出品アーティストや学芸員が作品をわかりやすく解説します

しやび雅楽

日本の伝統音楽である雅楽で新春をお祝い。昨年大好評だった橘雅友会による演奏とトークをお楽しみください。(無料)

1月2日(金)、3日(土) 各日13時~15時  
場所：2階エントランス前  
出演：橘雅友会



おめでどう写美クイズ

クイズに答えてすてきな写美グッズをもらおう!  
(チケット購入時にクイズ用紙をお渡しします)

抽選場所：2階総合カウンター



1階ミュージアムショップ&カフェ

1階ミュージアムショップ  
「ナディフ・バイテン」  
福袋 3,000円

1階カフェ  
「シャンブルクレール」  
甘酒 1杯 150円

米どころ秋田より取り寄せた、店長こだわりの甘酒。新春のお祝いに是非ご賞味ください。(なくなり次第終了)

「御浜町みかん」先着プレゼント

あまくておいしい、こだわりの御浜町みかん。1階カフェをご利用のお客様にお配りします。(なくなり次第終了)



※最新情報はホームページ: http://www.tyohi.com/tyohi/tyohi.html  
※表記の価格はすべて税込みです

写美の  
お正月  
2009

新年は1月2日より開館します!  
2009年1月2日(金)~4日(日)は、たのしいイベントがいっぱい!

◆開館時間 2009年1月2日(金)~1月4日(日)は10時30分~18時  
(ただし1Fホールで上映の「ニューイヤー! オペレッタ シネマフェスティバル」のみ、10時に開場)  
◆4階図書室は1月6日(火)より開室 ◆1月6日(火)より通常開館(10時~18時、木・金は20時)

1月2日は  
入場無料  
展示会

3F

3階展示室  
Exhibition Gallery

友の会無料 | 三越カード割引 | アトレカード割引

3月7日(土) ▶ 5月10日(日)

## 夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 II.中部・近畿・中国地方編

□ 一般 500(400)円 □ 学生 400(320)円 □ 中高生・65歳以上 250(200)円

( )は20名以上の団体および、上記カード会員割引料金

※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※東京都写真美術館友の会会員は無料 ※第3水曜日は65歳以上無

○主催：東京都 東京都写真美術館／読売新聞東京本社／美術館連絡協議会

○協力：日本大学芸術学部／NECディスプレイソリューションズ株式会社 ○協賛：ライオン／清水建設／大日本印刷

日本全国の美術館、博物館、資料館等の公開施設を持った機関が所蔵する幕末～明治中期の写真・資料を調査し、体系化する初めてのシリーズ展「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史」の第二弾として「II.中部・近畿・中国地方編」を開催します。

幕末の日本にもたらされた写真は、まさに開国とともに訪れた先端技術であり、近代的西洋文明の象徴でした。横浜や長崎などが開港、訪日する外国人写真師との関わりから、江戸の鶴岡玉川や開港地の上野彦馬・下岡運杖など、日本人の写真師が各地に現れます。彼らは、幕末～明治の近代化へ向かう日本と日本人を活写し、さらに次の世代へと伝承していきます。芸術表現に用いられる以前



《松平春嶽夫人勇姫》アンプロタイプ  
中根牛介・鶴岡玉川 文久2年 福井市立郷土歴史博物館蔵  
アメリカン・ダゲレオタイプなどに多く見られるケースに入ったアンプロタイプ(コロディオン湿板方式によって撮影され、原板を直接鑑賞する方式)。日本人初の営業写真師である鶴岡玉川が関わって制作された写真で、豪華な装丁と相まって幕末における大名家の優雅な生活が偲ばれる。

の写真にも、無意識だったにせよ芸術性は必ず宿っており、現在では貴重な作品です。では、このような初期の未分化な写真作品たちは、今どれほど存在しているのでしょうか。本展では、第一弾の関東編に引き続き、現存する貴重なオリジナルの写真作品や多くの東京未公開作品を展覧します。中部・関西・中国地方の施設約2,000箇所へアンケート調査を行い、これに基づき学芸員が現地調査を敢行。写された像だけではなく、装丁や記されている文字など「物」として楽しめる初期写真史の逸品を一堂にご紹介します。

担当学芸員によるフロアレクチャー 第2・4金曜日 16:00～  
※本展覧会の半券(当日消印)をお持ちの上、会場入り口にお集まりください



名刺判覗きからくり 明治時代 高石市郷土資料室蔵  
名刺判写真を複数枚セットすることができ、両側から向かい合せて鑑賞する装置。側面にあるハンドルを回すことで名刺判を送ることができ、回すたびに「チン! チン!」とかわいい音が鳴る。極端に精巧なものであるよりは、普及型を感じさせる部分があり、現在では失われた写真の鑑賞があったことを教えてくれる。



《魁写真鏡俳優画》大判錦絵三枚続 落合芳幾 明治3年 GALLERY UCHIDA蔵

同名の市村座第一番目五立目浄瑠璃を描いた錦絵。河原崎権之助演じる写真鏡師・古一を主人公とする歌舞伎が行われたということからも、写真師がいかにエッジな存在だったかを感じさせる。歌川国芳門下の浮世絵師である芳幾は、開化錦絵や新聞錦絵など伝統的な技法で近代日本を描いた。



《浅草十二階》鶏卵紙 撮影者不詳 明治時代中期 高石市郷土資料室蔵

「東海道五十三次」を筆頭とする浮世絵の名所絵は写真技術の普及によって、このような名刺判写真へと拡がりみせる。本作裏面には「浅草十二階」との鉛筆書きはあるものの、制作者に関わる記述は見られない。他の作例を見ても、名所を被写体とする名刺判写真には署名のあるものは稀である。高石市は全国の名所写真を潤沢に収蔵している。

B1F 地下1階展示室  
Exhibition Gallery

友の会割引 | 三越カード割引 | アトレカード割引

3月28日(土) ▶ 5月17日(日)

## 野町和嘉写真展「聖地巡礼」

□ 一般 800(640)円 □ 学生 700(560)円 □ 中高生・65歳以上 600(480)円

( )は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員、上記カード会員割引料金  
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

- 主催：日本経済新聞社 ○共催：東京都写真美術館
- 特別協賛：キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
- 協力：富士フイルム株式会社／コニカミノルタプラザ
- 企画：クレヴィス



家路を急ぐ少年 カルサス、アルジェリア 1972



水上の十字架をめざすウクク コイユリテ、ベルー 2004

写真家、野町和嘉は20代半ばでサハラ砂漠を訪れ、大地のスケールと、過酷な風土を生きる人々の強靱さに魅せられたことがきっかけとなって、今日までドキュメンタリー写真を撮り続けてきました。

35年余に及んだ取材地域は、ナイル川全流域からエチオピア、極限高地チベット、南米アンデスまでをカバーし、過酷な自然と調和しながら受け継がれてきた伝統文化をテーマに、地球規模のスケールで「大地と祈り」を撮り続けてきました。

そして1995年から2000年にかけて、サウジアラビアからの要請により、13億人イスラーム教徒にとって唯一の聖地である「メッカ」とその巡礼を、世界で初めて徹底取材してきました。これまでの取材の成果は、写真集「サハラ」、「ナイル」、「神よ、エチオピアよ」、「チベット」、「メッカ巡礼」として世界各国で出版され、とくに欧米では版を重ねてきました。また、2005年には、野町が30年以上にわたって撮り続けてきた世界各地の「祈り」を集大成した『A PHOTOGRAPHER'S PILGRIMAGE』(日本版『地球巡礼』新潮社)が、9カ国語版にて世界同時刊行されました。本展は最新作のガンジス、イラン、アンデスを中心として、代表作のアフリカ、エチオピア黙示録、メッカを加えた約180点によって構成するものです。



霧のなかの沐浴 アラハバード、インド 2007

### 野町和嘉略歴

Nomachi Kazuyoshi

- 1946年 高知県に生まれる
- 1965年 高知県立高知工業高校卒業
- 1968年 写真家・杵島隆氏に師事
- 1971年 フリーの写真家となる
- 1972年 サハラ砂漠に旅したことがきっかけとなって、ナイル、エチオピア、グレート・リフト・ヴァレーといったアフリカの乾燥地帯の取材を続ける。

1980年代後半より舞台を中近東、アジアに移し、中国、チベット、サウジアラビア等での長期の取材を経て、2002年以降アンデス、インドに取り組んでいる。

土門拳賞(1984年)、芸術選奨文部大臣新人賞、日本写真協会年度賞(1990年)、講談社出版文化賞(1993年)、東川賞国内作家賞(1997年)、大同生命地域文化研究特別賞(2002年)ほかを受賞。



◎お問い合わせ ▶ クレヴィス 03-5784-2466



イマーム・モスク中庭 エスファハーン、イラン 2001

1F

1階ホール  
Hall Cinema Information

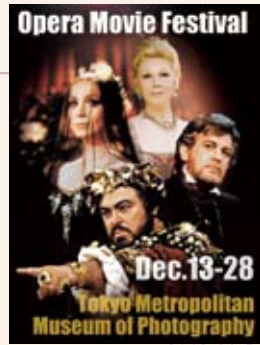
友の会割引 | 三越カード割引 | アトレカード割引

東京都写真美術館で観る映画シリーズ

### オペラ映画フェスティバル ～イタリアオペラ 名作の森～

今年生誕150年を迎えたプッチーニの、珠玉の5作品を一挙上映!  
フランコ・ゼッフィレリやジャン＝ピエール・ボネルといった演出・映像分野の巨匠たちが力を結集して、名作オペラを完全に映画化。生誕150年を迎えたプッチーニと、オペラ王ヴェルディというイタリアオペラを代表する二人の作曲家を取り上げ、「ラ・ボエーム」「トスカ」「リゴレット」「椿姫」「オテロ」の5作品を日本語字幕付きで連続上映いたします!

- 上映スケジュール：2008年12月13日(土)～12月28日(日)
- 休映日：2008年12月15日(月)、12月22日(月) ○上映時間：10:30/14:00
- 料金：[当日券]一般2,800円(税込) ※各上映回別・日時指定、未就学児童の入場不可



### ニューイヤー! オペレッタ シネマ・フェスティバル

新年の幕開けは、ウィンナ・オペレッタとともに…  
有名なオペレッタを、本場ヨーロッパの一流の指揮者・歌手で映画化した、『ウィーン気質』、20世紀初頭の代表的なオペレッタ作曲家カールマンの『チャールダーシュの女王』の3作品を新春にお届けします。

- 上映スケジュール：2009年1月2日(金)～1月12日(月・祝)
- 休映日：2009年1月5日(月) ○上映時間：10:30/13:30/16:30
- 料金：[当日券]一般2,800円(税込) ※各上映回別・日時指定、未就学児童の入場不可



### museum shop

ミュージアムショップ  
「ナディッフ バイテン」

◎お問い合わせ：「ナディッフ バイテン」  
営業時間 10:00-18:00(木・金は20:00、土は18:30)  
直通 03-3280-3279

### stationery



写美オリジナルグッズに、鉛筆と鉛筆削りが新登場! フィルムのパトローネ型の中に、鉛筆削りがすっぽり入ったデザインです。ぜひセットでどうぞ。

鉛筆 100円(税込)  
鉛筆削り 500円(税込)

www.syabi.com/shop/shop.html

### cafe

chambre claire カフェ  
「シャンブル クレール  
～明るい部屋～」

◎お問い合わせ：カフェ「シャンブル クレール」  
営業時間 【1階】10:00-20:00(日曜日は18:00まで) 【2階】10:00-18:00  
直通 03-5798-2218

### cake



りんごがぎゅーりとつまったアップルパイです。程良いシナモンの香りが食欲を誘います。

アップルパイ  
550円(税込)

www.syabi.com/cafe/cafe.html

### 維持会員 Corporate Members

東京都写真美術館の活動をご支援いただくため、次の企業・団体に維持会員としてご入会いただきました。  
※詳しくはホームページをご覧ください。http://www.syabi.com/member/member.html

TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY

- 特別支援会員
  - キャノンマーケティングジャパン株式会社
  - 株式会社キューンコミュニケーションズ
  - 共同印刷株式会社
  - 社団法人共同通信社
  - 協和発酵キリン株式会社
  - キリンホールディングス株式会社
  - 株式会社光文社
  - 株式会社光文社
  - 株式会社国書刊行会
  - 株式会社コスモインターナショナル
  - 株式会社コーセー
  - コダック株式会社
  - コニカミノルタホールディングス株式会社
  - 株式会社ザ・アール
  - サッポロホールディングス株式会社
  - 産経新聞社
  - サントリー株式会社
  - 株式会社サンローズイ
  - 株式会社ジェイアール東日本企画
  - ジェイティービー印刷株式会社
  - 株式会社シグマ
  - 株式会社実業之日本社
  - 清水建設株式会社
  - 株式会社写真弘社
  - シャネル株式会社
  - 株式会社集英社
  - 株式会社主婦と生活社
  - 株式会社主婦の友社
  - 株式会社小学館
  - 松竹株式会社
  - 信越化学工業株式会社
  - 株式会社新潮社
  - 株式会社スタジオアリス
  - 株式会社スタジオジブリ
  - 住友化学株式会社
  - 株式会社生活の友社
  - セイコーホールディングス株式会社
  - 株式会社青春出版社
  - 積水ハウス株式会社
  - セントラル警備保障株式会社
  - 全日本空輸株式会社
  - ソニー株式会社
  - 第一建築サービス株式会社
  - 第一三共株式会社
  - 第一法規株式会社
  - ダイキン工業株式会社
  - 大成建設株式会社
  - 株式会社竹中工務店
  - 株式会社タムロン
  - 株式会社淡交社
  - 株式会社丹青社
  - 株式会社中央公論新社
  - 中外製薬株式会社
  - 株式会社ティー・ピー・オー
- 維持会員
  - 株式会社テー・オー・ダブリュー
  - 株式会社テレビ朝日
  - 株式会社テレビ東京
  - 電源開発株式会社
  - 株式会社電通
  - 東亜建設工業株式会社
  - 東京ガス株式会社
  - 東京急行電鉄株式会社
  - 東京工芸大学
  - 東京新聞・中日新聞社
  - 株式会社東京スタジオ
  - 東京造形大学
  - 東京総合写真専門学校
  - 東京テアトル株式会社
  - 東京都競馬株式会社
  - 株式会社東京ドーム
  - 株式会社東京美術倶楽部
  - 株式会社東京放送
  - 東京メトロポリタンテレビジョン株式会社
  - 株式会社東芝
  - 東宝株式会社
  - 株式会社東北新社
  - 株式会社徳間書店
  - 図書印刷株式会社
  - 戸田建設株式会社
  - トヨタ自動車株式会社
  - 日外アソシエーツ株式会社
  - 日油株式会社
  - 日産自動車株式会社
  - 株式会社日本カメラ社
  - 日本経済新聞社
  - 日本興亜損害保険株式会社
  - 株式会社日本広告社
  - 社団法人日本広告写真家協会
  - 日本写真印刷株式会社
  - 社団法人日本写真家協会
  - 社団法人日本写真家協会
  - 日本写真芸術専門学校
  - 日本写真作家協会
  - 社団法人日本写真文化協会
  - 日本大学芸術学部
  - 日本たばこ産業株式会社
  - 日本テレビ放送網株式会社
  - 日本ハム株式会社
  - 日本ヒューレット・パッカード株式会社
  - 株式会社ニッポン放送
  - 日本レコードマネジメント株式会社
  - 日本ロレックス株式会社
  - 株式会社ニューアートディフィジョン
  - 野崎印刷紙業株式会社
  - 株式会社博報堂
  - パナソニック株式会社
  - 株式会社林原生物化学研究所
  - びあ株式会社
- 北海道 写真の町東川町
  - 東日本旅客鉄道株式会社
  - 写真印刷株式会社
  - 株式会社美術出版社
  - 株式会社日立製作所
  - 株式会社日立物流
  - 株式会社ビックカメラ
  - ヒノキ新薬株式会社
  - 株式会社ファーストリテイリング
  - 株式会社ファンケル
  - 富国生命保険相互会社
  - 富士重工業株式会社(スバル)
  - 富士ゼロックス株式会社
  - 株式会社フジテレビジョン
  - 株式会社扶桑社
  - 株式会社プラザクリエイト
  - 株式会社ブリヂストン
  - 株式会社プリンスホテル
  - 株式会社フレームマン
  - 株式会社文藝春秋
  - 株式会社ベネッセコーポレーション
  - 株式会社ホテルオークラ
  - HOYA株式会社 PENITAX(イソグン) 写真事業部
  - 株式会社堀内カラー
  - 本田技研工業株式会社
  - 毎日新聞社
  - 株式会社マガジンハウス
  - マミヤ・デジタル・イメージング株式会社
  - 丸善株式会社
  - 株式会社マンダム
  - 三井倉庫株式会社
  - 三井不動産株式会社
  - 株式会社三越
  - 三菱地所株式会社
  - 三菱製紙株式会社
  - 武蔵大学
  - 森ビル株式会社
  - モルガン・スタンレー証券株式会社
  - 株式会社ヤナセ
  - ヤマトロジスティクス株式会社
  - 宇都宮大学
  - ユニリーバ・ジャパン株式会社
  - 横河電機株式会社
  - 株式会社吉野工業所
  - 株式会社ヨドバシカメラ
  - 読売新聞社
  - ライオン株式会社
  - ライカカメラジャパン株式会社
  - リシュモン ジャパン株式会社 モンブラン
  - 株式会社ワコール

(平成20年10月現在・五十音順)

### 友の会

東京都写真美術館では、随時新規会員の募集をしています。展示会のご招待・割引、上映映画の割引をはじめ、たくさんの特典をご用意している他、関連施設での割引もご紹介します。開館時間(10:00～18:00、木・金は20:00まで)に当館1階チケットカウンター横「友の会カウンター」にてご入会いただけます。皆さまのご入会を心よりお待ちしております。

年会費	
個人会員	2,000円
家族会員同伴者1名まで	3,000円
シルバー会員(65歳以上の方)	1,000円

- 受付は当館1階チケットカウンター横の「友の会カウンター」のみとなっております。
- 会員証の有効期限は、翌年の同月末日までです。 ※詳細は当美術館までお問い合わせください。 TEL:03-3280-0099

友の会特典	特典内容
収蔵展・映像展	無料 ※会期中は何度でもご覧いただけます※家族会員の方は、同伴者1名まで無料
企画展・共催展	割引 ※御利用いただけない場合もございます
ミュージアムショップ	5%引き ※一部商品は除きます
カフェ	ブレンドコーヒー、ダーズリン紅茶を200円引き ※詳細はお尋ねください
その他	○写美ニュース「eyes」送付 ○1階ホール(実験劇場)の割引 ○ロコ渋谷店で1,000円以上のお買上につき5%割引(洋書・洋雑誌)など